

H24

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A	
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設白書の作成)		作成日	H24.4.1		
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	吉田 克夫		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	公共施設の有効活用、適正配置及び市民が施設運営への参加促進等のため、各公共施設の目的や対象者、利用者数、稼働率、運営コスト等について、共通の指標で比較検討できるような(仮称)公共施設白書について作成し、公開する。 また、そのためのデータ整理や公共施設の有効活用に利用できるシステムの導入についても検討する。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	遅れている	先進都市の事例研究や自治体間の意見交換及び研究部会などに参加して情報収集					
平成24年度	実施	今後の有効活用に必要なデータ項目の整理、システム導入の検討					
平成25年度	実施	システムへのデータ投入					
平成26年度	実施	(仮称)公共施設白書の作成					
平成27年度	完了	(仮称)公共施設白書の公開 以降更新 営繕計画に反映					
成果指標	指標名	公共施設白書システム化進捗状況				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	20	20	50	80	100	100
	実績値	10	20				10
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎的データとして活用できる						

H24

## アクションプラン(平成24年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A		
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設白書の作成)	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	吉田 克夫	担当者	資産管理担当		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	今後の有効活用に必要なデータ項目の整理, システム導入の検討						
	取組項目	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
1	施設の有効活用に必要なデータの項目検討	○	○					
2	システム選定, 導入準備			○	○			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	・今後のデータ整理, 公共施設の有効活用を図るためのシステムを検討し, 次年度以降から導入するシステムの選定を行った。また, あわせて次年度からのシステム導入, データ入力のための準備を進めていきます。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	公共施設白書システム化進捗状況	計画値	単位	%	実績値	単位	%
				20			20	
	達成状況【成果】	達成	コメント	データの整理, 公共施設の有効活用を図るためのシステムの決定に至った。H25年度からは, 緊急雇用創出事業を活用してシステム導入, データ入力を進めていく。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	特になし				
	計画値	無						
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	C	コメント 指示事項	関係部署との連携を図り, 効果的な取り組みを行うこと。				
	方向性	取組み強化						

H24

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業		作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31	
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課		責任者	小宮山 勉	担当者	労政・融資担当	
取組年度	H23	～	H27					
効果	歳出削減							
最終目標	勤労会館施設管理運営事業費を一般財源ベースで対平成23年度当初予算比20%を削減する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	進んでいる	利用促進を図るとともに、勤労会館のあり方をまとめた。						
平成24年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直しの周知を行う。 25年度予算で対23年度当初予算比5パーセント程度削減。						
平成25年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを行う。 26年度予算で対23年度当初予算比15パーセント程度削減。						
平成26年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを行う。 27年度予算で対23年度当初予算比20パーセント程度削減。						
平成27年度	完了	開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを継続する。						
成果指標	指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費				単位	千円	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	6,062	6,062	5,153	4,850	4,850	4,850	
	実績値	6,075	5,399					
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636
		実績額	△ 13	663				650
	計	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636
		実績額	△ 13	663	0	0	0	650
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H24

## アクションプラン(平成24年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31			
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課	責任者	小宮山 勉	担当者	労政・融資担当			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直しの周知を行う。 25年度予算で対23年度当初予算比5パーセント程度削減。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	開館時間の見直し			○	○	○	○		
2	施設の有効活用に向けた取り組み			○	○	○	○		
3	パソコンルーム見直しの検討						○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館時間の見直し(利用者の少ない水曜日と日曜日の夜間閉館)を行い施設の効率的な運営を図った。</li> <li>・公共施設予約システム導入に向けた検討を行った。</li> </ul>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費		計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
					6,062			5,399	
	達成状況【成果】	達成	コメント	平成24年度夏季強化エコアクションプランに基づき東日本大震災以降の電力不足に対応し、消費電力の削減を図るため、7月以降、稼働率の低い水曜日と日曜日の夜間利用を取りやめ、5時で閉館とし維持管理経費の削減に努めた。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	今年度に条例の改正を行い、水曜日と日曜日の夜間を閉館とし、維持管理経費の削減に努めることとした。					
	計画値	無							
評価	評価者	大竹 正祥	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	パソコンルームの見直しに併せ、勤労会館としての機能維持についての再検討が必要。但し、地域若者サポートステーションの取扱に関して配慮していく。					
	方向性	継続実施							

H24

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策		作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31	
担当部署	140400	都市部 住宅課		責任者	渡末 充章	担当者	市営住宅担当	
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	市営住宅の耐久性の向上及び機能の向上を図る改善を実施することにより建物の長寿命化を図る。 特に経年劣化の激しい外壁, 屋上防水部材に関しては, グレードアップ等による耐久性を向上させることにより修繕周期の延長によるライフサイクルコストの縮減を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	計画どおり	市営逆井団地14号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成24年度	実施	市営北柏D棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成25年度	実施	市営根戸7号棟防水改修工事, 市営塚崎団地1号棟外壁塗装・防水改修工事, その他工事						
平成26年度	実施	市営塚崎団地2号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成27年度	完了	市営塚崎団地3号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
成果指標	指標名	老朽化対策進捗率				単位	棟	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	1	1	2	1	1	6	
	実績値	1	1					
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	1,400	3,300	4,100	2,000	2,000	12,800
		実績額	1,400	3,300				4,700
	計	計画額	1,400	3,300	4,100	2,000	2,000	12,800
		実績額	1,400	3,300	0	0	0	4,700
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H24

## アクションプラン(平成24年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31			
担当部署	140400	都市部 住宅課	責任者	渡末 充章	担当者	市営住宅担当			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	市営北柏D棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事							
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
1	外壁塗装, 屋上防水等に関する設計図書作成			○					
2	外壁塗装工事, 防水改修工事等の実施			○	○				
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	9月13日契約締結し, 計画どおりに進捗中。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	老朽化対策進捗率	計画値	単位	棟	実績値	単位	棟
					1			1	
		達成状況【成果】	達成	コメント	北柏D棟について外壁塗装工事, 屋上防水改修工事を実施し, 建物の長寿命化を図った。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度予算に基づく調整(根戸7号棟の予算がつかなかった)。他の計画との整合性を図った。</li> <li>次年度に修繕を実施する棟が変更となったため, 効果額と合わせて変更した(効果額が高い棟を修繕することとなった)。</li> <li>成果指標をわかり易くするため, 次年度から「老朽化対策実施棟数」へと変更する。</li> </ul>				
		計画値	有						
評価	評価者	鈴木 正明	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	本市には, 比較的築年数が古い棟が多いが, 設備を含めた適切な修繕を行い, 建物資源の有効活用を図ること。					
	方向性	継続実施							

H24

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31	
担当部署	120100	土木部 道路維持管理課	責任者	後藤清	担当者	維持補修担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	歳出削減						
最終目標	<p>平成19年度から平成23年度に橋梁データの収集を行い、平成24年度には、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。橋梁長寿命化修繕計画策定により、対症療法的な修繕から予防保全的な修繕を実施し、損傷顕在化の前に対策を講じ、事後的な修繕や架替えに比較して維持管理コストの縮減及び予算の平準化を図る。</p> <p>平成25年度からは、修繕対策の優先順位付けに基づき修繕工事を行うが、併せて国庫補助を受け市の財政支出の抑制を図る。</p> <p>※なお、計画策定時に予算の縮減・平準化の試算を行うため、現時点での計画額の表記は不可能である。</p>						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	橋梁超寿命化修繕計画の策定に向けての橋梁データ整備を実施する。					
平成24年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画の策定					
平成25年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
平成26年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
平成27年度	完了	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
成果指標	指標名	橋梁データ収集・維持補修				単位	橋
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	38	176	5	5	5	
	実績値	38	176				
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	橋梁データ収集	H23までの橋梁データを基に、全橋梁176橋の策定計画を実施	・予防保全型の対策による橋梁の延命化 ・不測の事故や苦情等の減少				

H24

## アクションプラン(平成24年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31			
担当部署	120100	土木部 道路維持管理課	責任者	後藤清	担当者	維持補修担当			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画の策定							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	橋梁長寿命化修繕計画の策定				○	○	○		
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	計画策定を請け負っている業者と、これまでに点検調査を請け負っている業者が違うため考え方に温度差があるとの理由で、当初意見を予定していた学識者の辞退があったが、現在は適任者が見つかかり順調に進んでいる。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	橋梁データ収集・維持補修		計画値	単位	橋	実績値	単位	橋
					176			176	
	達成状況【成果】	達成	コメント	長寿命化修繕計画を作成し、橋の事後的な修繕から予防保全的な修繕に切替る事により、費用が多くなる橋の架け替え時期を先に延ばし、176橋の将来を考えたトータルの維持管理コストの縮減及び予算の平準化を図る。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	橋梁長寿命化修繕計画の優先(補修)順位により、各年度に施工する橋梁数に変更が生じた。当該計画は、軽微な損傷の状態での補修することにより、橋の使用年数を延ばし、莫大な架け替え費用を削減させることを目的に行っていくものです。そのため、点検・メンテナンスを繰り返すことで、橋の延命を図って行きますので、単年度における歳出削減効果を算出することは出来ません。					
	計画値	有							
評価	評価者	石井 健三	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	事業は長寿命化修繕計画に沿って進め、コスト削減を図ること。また補助金を確保しながら歳出抑制に努め、計画的な事業実施を期待する。					
	方向性	継続実施							

H24

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32005	青少年センターの管理		作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31
担当部署	280700	生涯学習部 生涯学習課		責任者	小城 亨	担当者	振興担当
取組年度	H23	～	H24				
効果	その他改善						
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的利用の推進による幅広い利用を促し、低稼働率(平成22年度稼働率28.5%)向上のために施設の有効利用を図る。</li> <li>・近隣センターの平均稼働率(約50%)を上回る成果指標の計画値を設定し、実現に向けて取り組む。</li> </ul>						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	遅れている	教職員研修所としての利用の調整を行った。					
平成24年度	完了	青少年センターのあり方を示し、それに沿った利用方法を検討する。					
平成25年度							
平成26年度							
平成27年度							
成果指標	指標名	稼働率				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	45	50				0
	実績値	28	25				0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	稼働率の向上により、施設の 有効利用が図れる。	稼働率の向上により、施設の 有効利用が図れる。					

H24

## アクションプラン(平成24年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B
番号・取組事業名	32005	青少年センターの管理	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31
担当部署	280700	生涯学習部 生涯学習課	責任者	小城 亨	担当者	振興担当
	区分	取組内容・目標				
平成24年度	完了	青少年センターのあり方を示し、それに沿った利用方法を検討する。				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	青少年センターのあり方について検討		○	○	○	○
2	あり方に沿った利用方法に向けた準備, 周知			○	○	○
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	1については、青少年センターを、本来の青少年健全育成活動の拠点としての利用のほか、教職員研修所及び教育相談室としても利用していく場合の施設の有効的な利用方法について、施設改修の要否も含め、関係部課と協議を進めている。 2については、1についての協議が整い次第関係団体等に周知していく。		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	稼働率	計画値	単位 50	%	実績値 25
	達成状況【成果】	未達成	コメント	多目的利用を目指してきたが、教育相談においてプライバシーに配慮する必要が生じ、多目的利用を控えたため、稼働率向上という目標を再設定することとなった。教育相談の担当からは施設改修等によるプライバシー確保策を、教職員研修の担当からは事務スペースの増を要求されており、多目的利用を図る前に、これらの調整が必要となっている。		
	進捗状況【活動】	完了(事業終了)		青少年健全育成活動拠点以外の活用を図ることはできたため、アクションプランの取組としては完了とし、今後は、施設の改修も含めたプライバシーに配慮した施設利用等を、学校教育部をはじめとする関係部署と協議していく。		
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント		
計画値		無				
評価	評価者	草野 啓治	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	C	コメント 指示事項	青少年センターの本来の目的である青少年健全育成活動の拠点としての活用をベースに、複合施設としての利点を活かす方策を教育委員会において十分検討し、市民の理解が得られるよう取り組む必要がある。		
	方向性	完了(目的未達成)				

H24

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32006	施設の節電・省エネルギー化		作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31	
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館		責任者	海老原 謙一	担当者	枝川 旬	
取組年度	H24	～	H27					
効果	その他改善		歳出削減					
最終目標	中央公民館がある教育福祉会館は、昭和56年の新耐震基準以前に設計されている。この耐震性の問題に加えて建築後31年を経過しており、経年による老朽化が著しく進行しているため、総合計画の後期基本計画の中で、耐震改修とリニューアル工事を実施することとしている。市民の安全性や利便性、延命化を図るために行う耐震改修とリニューアル工事に併せて、照明設備のLED化など節電・省エネルギータイプのものに更新することにより、管理経費を削減する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度	実施	耐震改修工事に併せた「照明設備」等の改修計画を作成するために、現況調査を行い、館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕のための予算化(経常経費・政策経費)を行う。						
平成25年度	実施	公民館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕を行う際に、節電・省エネルギータイプのものに更新する。耐震改修実施設計委託に照明設備等の改修を含める。						
平成26年度	実施	公民館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕を行う際に、節電・省エネルギータイプのものに更新する。						
平成27年度	完了	耐震改修工事に併せて、施設の共有部分の照明設備等を節電・省エネルギータイプのものに更新する改修工事準備を行う。						
成果指標	指標名	電気使用量				単位	kwh	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値		397,600	397,600	397,600	397,600	397,600	
	実績値		290,536				0	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額		1,072	1,072	1,072	1,072	4,288
		実績額		553				553
	計	計画額		1,072	1,072	1,072	1,072	4,288
		実績額		553				553
見込まれる その他効果 (金額以外)			光熱水費の電気料の経費が軽減される。	光熱水費の電気料の経費が軽減される。	光熱水費の電気料の経費が軽減される。	照明等の設備に係るランニングコストや器具の交換寿命が延びることで経費節減が期待できる。		

H24

## アクションプラン(平成24年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32006	施設の節電・省エネルギー化	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館	責任者	海老原 謙一	担当者	枝川 旬		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	耐震改修工事に併せた「照明設備」等の改修計画を作成するために、現況調査を行い、館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕のための予算化(経常経費・政策経費)を行う。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	教育福祉会館内の修繕を必要とする照明器具の現況調査				○			
2	修繕経費の見積り作成				○			
3	修繕経費の予算化					○		
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>リニューアルの基本コンセプトである電気設備の省エネ化(LED化)を現実的に進めるため、イニシャルコストに配慮した現況調査を行い、ロビーと風除室、トイレ、通路部を最優先とすることとした。現在、3階ロビーにある美術サロンの電球の一部をLED電球(10個)に切り替え、利用者の声などデータを集積中である。</p>				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	電気使用量	計画値	単位	kwh	実績値	単位	kwh
	達成状況【成果】	達成	コメント	<p>不要な照明の節電や美術サロンの一部をLED電球に切り替えるなどの節電に努めた。廊下等の共用部分へのLED電球の採用や利用者への節電の協力について啓発を行う。電気使用量は22年度の3/4に削減されたが、効果額については24年度中に電気料金が値上げされたことから、計画額に至らなかった。</p>				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	<p>効果額の計画額は、電気料金の値上げがあった24年度の実績額を計画額とする。平成24年度中に確定した第6次実施計画に基づき、平成28・29年度に予定されている耐震補強・大規模改修工事時に全館の照明設備等を節電・省エネルギータイプに更新する。</p>				
	計画値	有						
評価	評価者	草野 啓治	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	<p>公民館の利用者が安全で安心して利用できるよう、周到的な準備を継続されたい。なお、事業の実施にあたっては、福祉部門との連携を図るとともに、関係者と十分な意思疎通を図りながら進める必要がある。</p>				
	方向性	継続実施						